

Business News

第287号

三井住友海上経営サポートセンターでは、会員企業・法人の経営者の皆様から各種経営相談をお受けしています。また Business News を定期的にお届けして皆さまに各種経営情報をご提供いたします。本号は、国が建設業界共通の制度インフラとして進めている「建設キャリアアップシステム（CCUS）」について、SATO行政書士法人に寄稿いただきました。

建設キャリアアップシステム（CCUS）の概要とポイント

建設業のCCUSは、2019年4月から全国での本格運用が開始されました。国土交通省は「2023年度にあらゆる工事でのCCUS完全実施」を打ち出しています。CCUSについて、ご案内いたします。

1. CCUSの目的

建設業の現場を担う技能者の高齢化や若者の減少等への課題対応を推進し、優秀な建設業の担い手を確保・育成することが目的です。業界横断で各技能者の情報を登録・蓄積し、能力を評価する仕組みです。技能者の様々な現場での経験を、処遇に適切に反映させることにつながります。

2. CCUSの仕組み

(1) 登録する情報

<技能者> 本人情報（住所、氏名等）、社会保険加入状況、建退共（建設業退職金共済）手帳の有無、保有資格、研修受講履歴、現場実務経験 等

※登録完了後、ICカード「キャリアアップカード」が交付されます。

<事業者> 商号、所在地、建設業許可情報、社会保険加入状況 等

(2) 情報の蓄積

- ・元請事業者は、開設した現場の情報（現場名、工事内容等）をCCUSに登録します。
- ・技能者は、現場入場の際、カードリーダー等で自分の「キャリアアップカード」を読み取ります。
- ・「誰が」「いつ」「どの現場で」「どのような作業に」従事したのか、といった個々の技能者の就業履歴がCCUSに蓄積されます。

3. 登録・運用のメリット

<技能者> 仕事の記録を「キャリアアップカード」に貯めることで、客観的な実力の証明ができ、処遇の改善につながりやすくなります。将来的には、このカード1枚に各種の情報を集約するため、資格証等を個々に携行する必要がなくなります。

<事業者> 現場の事務作業の省力化や、公共工事入札での評価アップにつながります。さらに、技能者を育てて施工能力の評価がアップすることにより、仕事の受注の増加が見込めます。

2023年度の「CCUS完全実施」に向け、今後、公共工事でのCCUSの原則化や、建退共制度でCCUS活用による電子申請方式への完全移行等が進められます。また、現場管理の効率化等のため、元請事業者から下請事業者へCCUSへの登録を求めていくことも想定されます。未登録の事業者におかれては、登録準備を始めることをお勧めいたします。

最新情報や詳細は、関連HPをご覧ください。

- ・国土交通省HP https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_fr2_000033.html
- ・一般財団法人建設業振興基金HP（CCUS運営主体） <https://www.ccus.jp/>

（SATO行政書士法人）

三井住友海上経営サポートセンターでは、2020年12月16日に建設業向けWeb経営セミナー「建設キャリアアップシステム(CCUS)を活用した生産性向上と働き方改革」を開催いたします。詳細・お申込は、三井住友海上オフィシャルサイト「セミナー情報」をご覧ください。

このニュースは三井住友海上経営サポートセンターの会員様に発信しております。

三井住友海上火災保険㈱ 101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9 TEL03-3259-1443 URL <https://www.ms-ins.com/business/keiei-support/>

※三井住友海上では、外部専門家と連携し、企業・法人経営者の皆様へ有益な情報を提供しています。

N287